

SDGsの17の目標（ゴール）は互いに深い関わりがあります。
 1つのゴールを達成しようとする行動が、他のゴールの達成にも貢献することがあります（「シナジー」といいます）。一方で、他のゴールの達成を遅らせることにつながってしまうこともあります（「トレードオフ」といいます）。
 経済・社会・環境の3側面のバランスをとりながら、達成に向けて取り組んでいくことがとても重要です。



はじめよう! SDGs



ふじキュン♡

SDGs 17のゴール		9 産業と技術革新の基盤をつくろう	産業と技術革新の基盤をつくろう
1 貧困をなくそう	貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう	人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを	住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を	気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう	海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさも守ろう	陸の豊かさも守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に	平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう	パートナーシップで目標を達成しよう

?? SDGsってなに?

SDGs（エスディーゼズ、持続可能な開発目標）は、わたしたちがこれからも地球上で暮らし、より良い社会をつくっていくための目標です。世界中の「誰一人取り残さない」ように、多くの国が2030年までの達成に向けて取り組んでいます。

?? どんな目標があるの?

貧困をなくす、みんなが教育を受けられるようにする、地球温暖化を防ぐ、など、経済・社会・環境についての17個の目標（ゴール）があります（4ページに一覧を掲載）。

?? いつできたの?

2015年9月に開催された国連サミットで、すべての参加国が同意し、採択されました。

?? わたしたちができることはあるの??

SDGs達成のために、わたしたちが毎日の生活のなかでできることはたくさんあります！次のページで、ふじキュン♡と一緒に考えてみましょう。

藤沢市のSDGs推進のための取組について

藤沢市では、2021年4月に策定した「藤沢市市政運営の総合指針2024」にSDGsの視点を取り入れ、新たに3つのまちづくりコンセプト「藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち（サステナブル藤沢）」「共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち（インクルーシブ藤沢）」「最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち（スマート藤沢）」を設定しました。また、2021年10月にSDGs推進のための方策をまとめた「藤沢市SDGs共創指針－「藤沢らしさ」を未来に引き継ぐ「みんな」で進めるSDGs－」を策定しました。

わたしたちにできること



わたしたちにできること



マイバッグ、マイボトルを持ち歩こう

海に漂うプラスチックごみが、将来的には魚より多くなってしまふ可能性が叫ばれています。マイバッグやマイボトルを持ち歩く習慣を付け、使い捨てのプラスチックをなるべく使わないようにしましょう。



運動する習慣を取り入れ、健康でいよう

生活にスポーツやウォーキングなどを取り入れて、健康な身体をつくりましょう。通勤・通学手段を自転車や徒歩にすることは、温室効果ガスの排出を抑えることにもつながります。



藤沢産の野菜や果物などを食べよう

地元でとれた新鮮な食材を購入すれば、輸送距離を短くすることができ、輸送時に排出される温室効果ガスを減らすことができます。また、藤沢の農水産物を盛り上げることに繋がります。



家庭の仕事を平等に分担しよう

掃除や洗濯、食事の用意などの家庭の仕事や育児が、誰かにかたよっていませんか。みんなで話し合っ、平等に分担しましょう。そうすれば、誰もが活躍できる社会に近づかずです。



食品のむだを減らして、余った食品は寄付しよう

日本では、1日に1人あたりお茶わん1杯分の食品を捨てているとされています。冷蔵庫のなかを整理して、食品をむだなく使い切りましょう。また、お米や缶詰など、長く保存できる食品は、フードバンクなどに寄付することもできます。



日頃から災害に備えよう

地震や津波、台風などの災害はいつ起こるかわかりません。水や非常食、救急用品などを用意し、近くの避難場所を確認しておきましょう。家族の安否確認の方法を事前に話し合っておくことも大切です。



水や電気を節約しよう

きれいな水や電気をつくるには、たくさんのエネルギーが必要です。お風呂の残り湯を洗濯に使ったり、部屋の明かりをこまめに消したりすることから始めてみましょう。



ワーク・ライフ・バランスを考えて、上手に働こう

仕事の忙しさに追われて疲れていませんか。ワーク・ライフ・バランスを保って健康を守り、趣味や地域活動に取り組む時間をもちましょう。



周りの人に思いやりをもち、親切にしよう

あなたの周りに、困っていたり、助けを求めている人はいませんか。積極的に声をかけ、いつでも助け合えるような関係をたくさんつくっていきましょう。



社会や環境にとって良い消費を心がけよう

買い物をするときには、その商品が長く使えるものか、どこでどのように作られたものなのか、少しだけ考えてみましょう。消費する側の行動が変わることで、世界は少しずつ良くなるはずですよ。



SDGsについて周りの人に話してみよう

SDGsについて知っていることや、取り組んでいることについて、家族や友人に話してみましょう。行動を起こす人が増えればそれだけ、目標達成に向けた力が大きくなります。



今日から取り組んでみたいことを書いてみよう!

